



内定者の声

林野庁総合職技術系

2022年度 内定者一同

はじめに

はじめまして。

この度は「林野庁内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。

本冊子は、国家公務員総合職試験・官庁訪問やその対策、さらに就職活動全般について受験者の皆さんに不安や悩みを少しでも軽減していただけたら…という思いから 2022 年度の内定者の実体験をもとにした様々な情報をお届けすべく作成いたしました。

ぜひご一読いただき、試験対策の参考としてお役立ていただけたらと思っております。

国家総合職試験・官庁訪問を突破して内々定をいただくまでの間、様々な苦悩や葛藤がありました。自分のやりたいことは何か、実現できる場所はどこか、自己分析を重ねるだけでなく、どの進路選択が最も良い選択なのかを日々考える毎日でした。この内定者の声は、林野庁を目指す方に限らず、国家総合職を目指す全ての方の就職活動において、何かの一助になれば嬉しいです。

皆さんが試験を通過し、もし林野庁に興味を抱いてくれたのであれば、林野庁で一緒に働けることを、内定者一同心待ちにしております。

なお、試験や官庁訪問などの情報は、2022 年度のものを参考に作成しておりますので、最新の情報については必ずご自身で以下のサイト等をご確認いただきますようお願いいたします。

また、本冊子に記載している試験対策方法等は内定者による主観や一経験にすぎませんので、ご自身にあったものを参考にさせていただけたら幸いです。

2022 年度 林野庁総合職（技術系） 内定者一同

詳しい情報について

『林野庁 HP 採用案内』 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanri/saiyou/>

『人事院 国家公務員試験採用情報 NAVI』 <https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

目次

1. 内定者情報	4
2. 総合職試験	7
2-1 国家総合職試験とは	7
2-2 2022年度国家総合職試験スケジュール	7
2-3 第1次試験	8
2-4 第2次試験	12
3. 官庁訪問	18
3-1 官庁訪問のスケジュール	18
3-2 官庁訪問対策	19
4. 併願対策	25
4-1 公務員試験の併願	25
4-2 民間企業との併願	26
5. 説明会対策	28
6. 内定者プロフィール	30
7. 採用担当インタビュー	38

コラム

「受験票ダウンロード」	9
「英語試験による加点」	14
「人事院面接の質問例」	17
「官庁訪問期間中の過ごし方」	21
「地方からの官庁訪問」	24
「インターンシップへの参加」	29

1. 内定者情報

今年の内定者 16 人の基本情報を一挙にまとめました！

年によって採用される人数は変わりますが、林野庁では最終学歴や出身、席次に関係なく人物本位の採用を行なっています！今年の内定者も全国津々浦々から採用されており、多様なバックグラウンドを備えたメンバーばかりです！

個々の内定者については内定者プロフィールを後半(30p～)にまとめてあります。

最終学歴

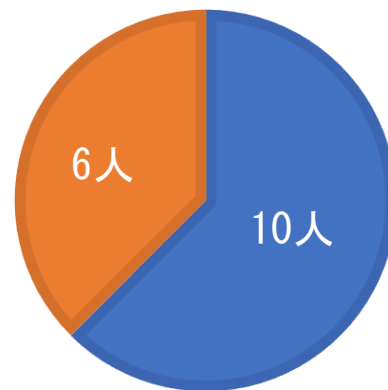
■院卒 ■学部卒



今年は院卒/学部卒が半数ずつでしたが、どちらの方が有利などはないので安心して官庁訪問に臨んでください！

男女比

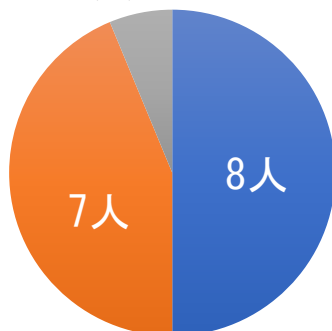
■男 ■女



性別による有利不利はありません！男女問わず、森林が好き！木材が好き！という思いがあれば十分です！！

第一クール訪問日

1人



■1日目 ■2日目 ■3日目

今年の内定者は、各日程から選ばれています。

官庁訪問は採用プロセスの一つですが、各省庁とのマッチングの場でもあります。林野庁は訪問日による有利不利はなく、学業や研究、遠方からの参加など訪問者の都合に最大限配慮してくれますので、心配せず採用担当者に相談しましょう！

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

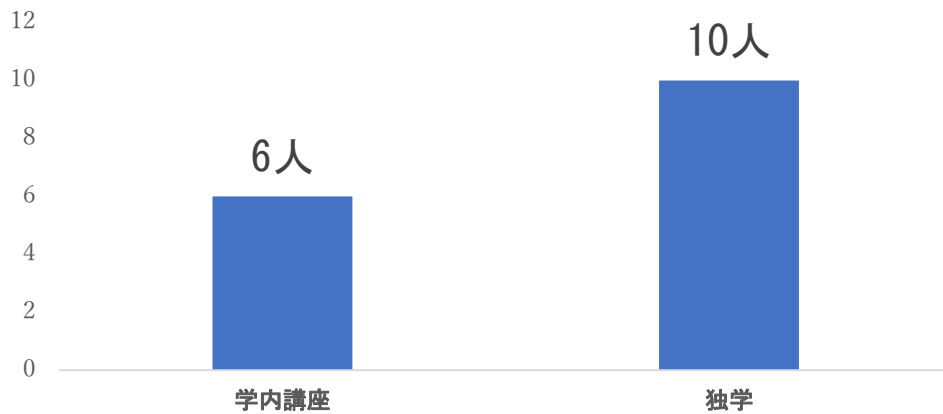
併願対策

説明会対策

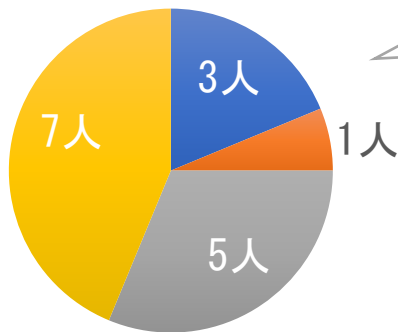
内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

試験対策



試験対策期間

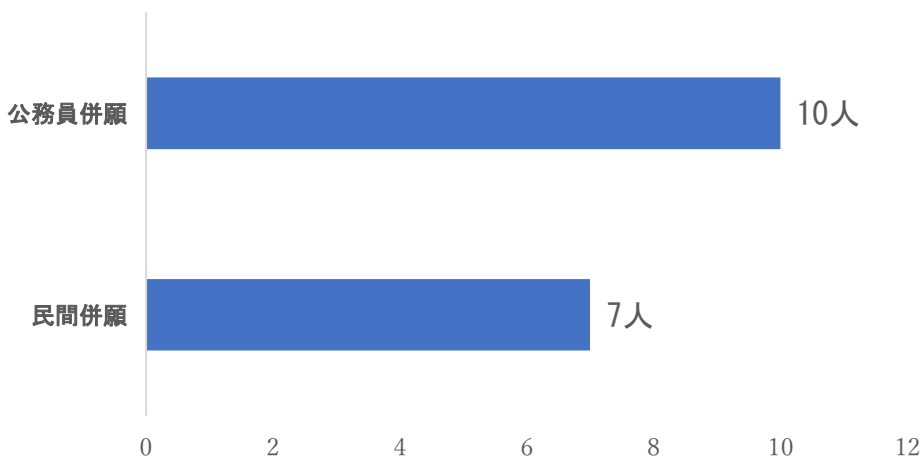


- ~1ヶ月
- 1ヶ月~3ヶ月
- 3ヶ月~半年
- 半年~1年

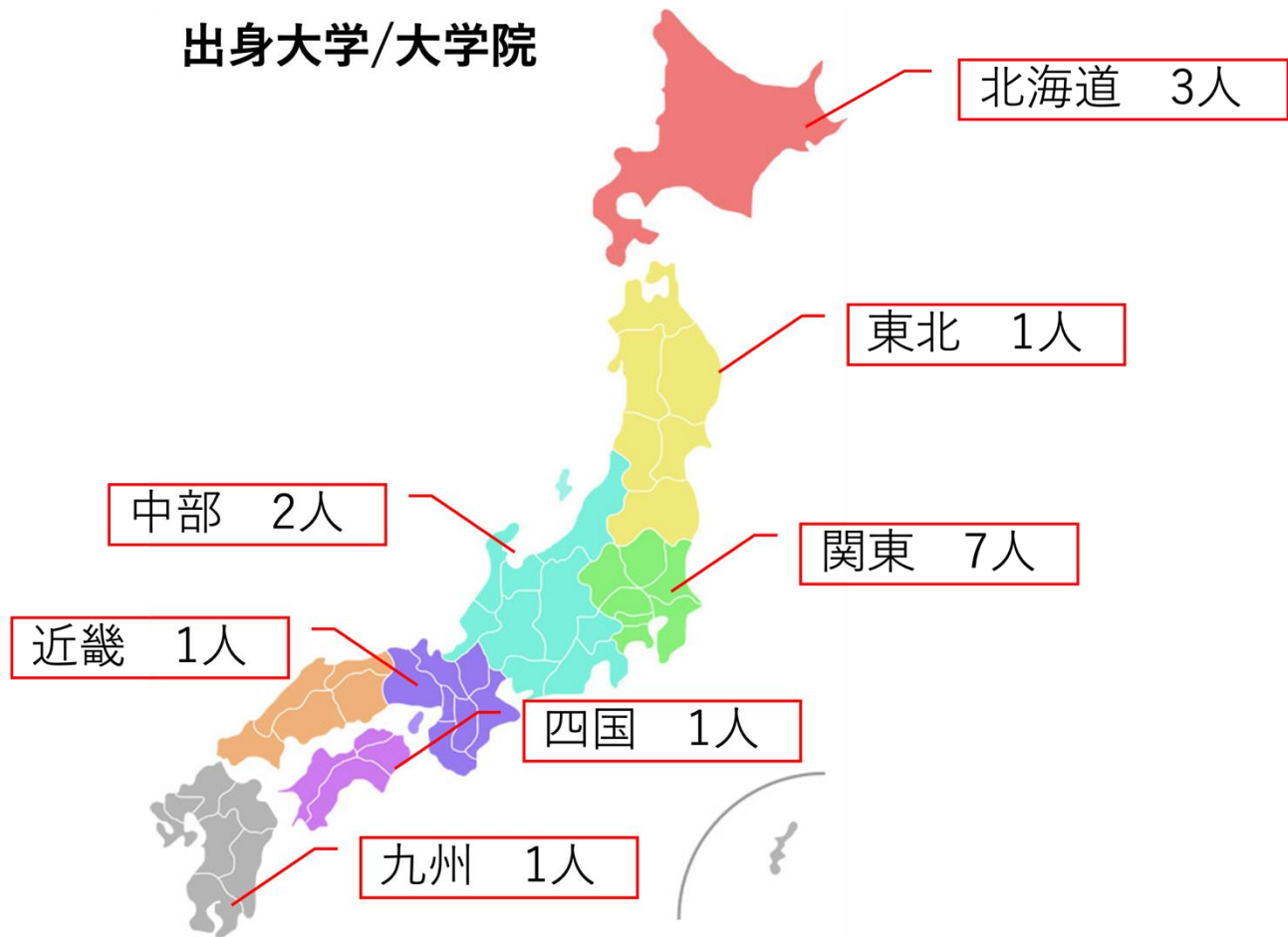
自分の得意不得意や研究/学業/就活との両立も考え、メリハリをつけて行うことが重要です。半数以上の内定者が独学で勉強していました。それぞれの勉強スタイルについては、「2. 総合職試験」を参照してください！

16人中13人が総合職以外の公務員か民間企業を併願していました。就活は自分の将来について深く考える機会です。幅広く業種や仕事を見ておくことで、納得のいく就活になると思います。どの内定者も、スケジュール管理など大変だったとしつつも、この経験はプラスになったと言っています！

就職活動での併願状況



出身大学/大学院



今年の内定者は、全国から幅広く選ばれました。

林野庁の官庁訪問では、大学の授業や遠方からの参加に伴って生じる都合に対して、最大限配慮してくれます。関東近郊と比較して、情報面で劣っていると感じてしまうかもしれませんが、積極的にコンタクトをとることは採用になんら影響しないと思うので、心配しないでください！

全国の国有林を所管する林野庁では、様々なバックグラウンドを持った方を待っています！

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

2. 総合職試験

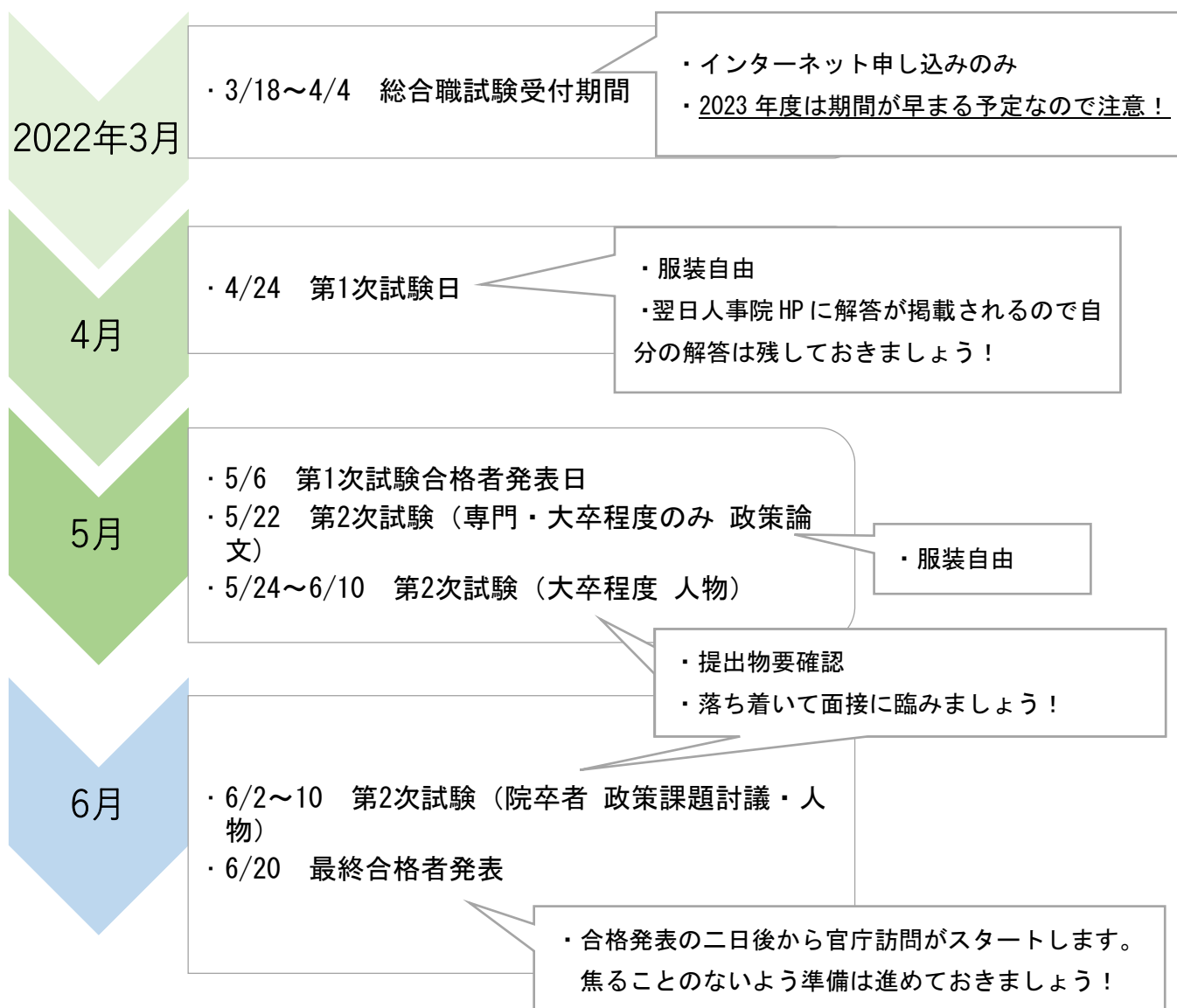
2-1 国家総合職試験とは

林野庁で働くためには避けては通れない最初の関門です。

この総合職試験に合格することで、採用候補者名簿に名前が登録され、官庁訪問に進むことができます。総合職試験は2ヶ月近くの長期戦かつ、筆記試験だけでなくグループディスカッションや面接といった様々な試験課題を突破しなければなりません。

この章では、今年度の内定者たちがどのようにして総合職試験に立ち向かっていったのか見ていきます。

2-2 2022年度国家総合職試験スケジュール



内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

※あくまで 2022 年度の試験の流れです。参考程度に目を通していただき、自分が受験する試験や官庁訪問の日程については人事院や農林水産省、林野庁等の HP をご覧ください。

2-3 第1次試験

第1次試験では、基礎能力試験と専門試験が行われます。どちらもマークシート方式(多岐選択式)の試験です。1次試験の合格者は、2つの試験の成績を総合して決定されます。1次試験においては、試験日の翌日に正答番号が人事院HPで公表される(1週間のみ)ので、持ち帰ることのできる問題冊子に自分の解答を忘れずに記しておきましょう。第2次試験までのモチベーションにも関わります。また、受かると思わずすぐに確認しなかったと、第2次試験の準備が遅れてしまったことを嘆く内定者もいます。気持ちを切り替えるためにも緊張するとは思いますが、正答が公開されたらすぐに確認しましょう。

＜基礎能力試験＞

知能分野(判断・数的推理、文章理解)と知識分野(自然科学、人文科学、社会科学)から成る試験で、マークシート方式(多岐選択式)で行われます。出題数と解答時間は、院卒者試験と大卒程度試験では異なるため、注意しましょう。

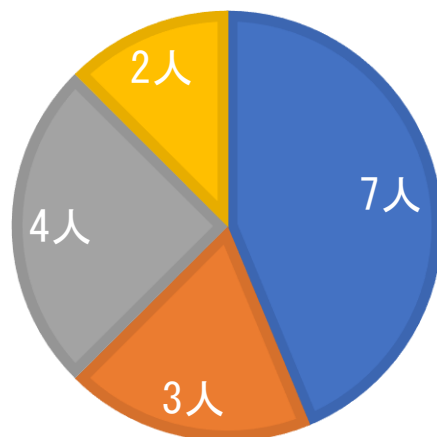
- ・院卒者試験:知能分野24題、知識分野6題、計30題を2時間20分で解答
- ・大卒程度試験:知能分野27題、知識分野13題、計40題を3時間で解答

・・・対策・・・

今年の内定者は試験の半年前頃から対策を開始した人が多い傾向にありました。一方で、対策を開始してから範囲が広いことを知り、もっと早くに対策を開始しておくべきだったという声も複数ありました。基礎能力試験は範囲が膨大なので、満点ではなく合格点を意識し、範囲を絞って勉強に取り組んだ方が良いでしょう。

基礎能力試験の勉強開始時期

- 2022年1月以降 ■ 2021年10月~12月 ■ 2021年7月~9月 ■ それ以前



知能分野を中心に対策を進め、知識分野の対策は時事問題にのみ絞る内定者が多くいました。満遍なく勉強したとしても、勉強した部分が試験に出るとも限りません。そのため、点を取れると思った科目や、配点の大きい科目に対策を絞ることも戦略の一つです。内定者の傾向として、確実に拾うべき範囲を取捨選択して勉強し、点に結び付かなそうな範囲は捨てるといった戦略を立て、試験に臨んでいました。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

アドバイス

- ・本番はとにかく**時間がない**ので、普段から時間を意識して問題を解く
- ・**早い段階で過去問に触れ**、傾向や自身の苦手・得意分野を把握する
- ・過去問演習を初見で解きたいなら、古い奥付のスーパー過去を使うと良い

反省

- ・苦手分野はなるべく多くの問題に触れるべきだった
- ・分からない問題は**本番であろうと割り切って捨てる**
- ・時事対策として日ごろからニュースをもっと見ておけばよかった

オススメ参考書

- ・新スーパー過去問ゼミシリーズ（実務教育出版）
- ・国家総合職 教養試験 過去問 500（実務教育出版）
- ・速攻の時事（実務教育出版）
- ・国家総合職試験の過去問



～コラム「受験票ダウンロード」～

国家総合職試験の受験票は、人事院から送られてくるのではなく、自分で印刷して1次試験時に持参する必要があります。1次試験のおよそ二週間前(2022年度は4/12)になると、人事院から受験申し込み時に登録したメールアドレス宛に受験票発行通知メールが届きます。このメールの記載に従い、人事院HPから受験票をダウンロードして印刷します。

実はこの受験票、試験の数日前(2022年度は4/21の17時)までにダウンロードしなければ、それ以降ダウンロードできなくなります。万が一、受験票のダウンロードを忘れて期日を過ぎてしまった場合は、速やかに人事院に連絡しましょう。試験当日に一般受験者よりも少し早く到着しなければなりません、受験票を再発行してくれます。もしダウンロードを失念してしまっても、試験を受けることはできます。心配せず落ち着いて対応するようにしましょう。(ダウンロードは忘れずにしてくださいね！)

＜ 専門多岐選択式試験 ＞

院卒者試験、大卒程度試験ともに121題ある問題のうち、40題を3時間30分で解答します。基礎能力試験同様マークシート方式(多岐選択式)です。40題中13題は必須問題で、残りの27題は12科目の中から任意の3科目(以下の一覧を参考)を選択し解答します。なお、選択科目については、3科目を超えて解答しても超えた分については採点されません。

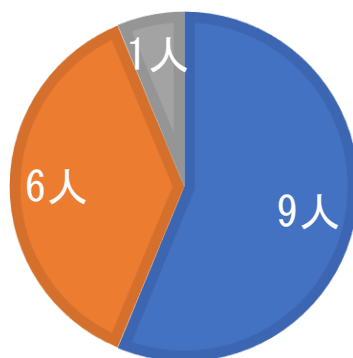
また、第1次試験はこの専門多岐選択式試験が午前に、前項の基礎能力試験が午後に実施されます。試験当日にそのことを知って焦ることのないよう気持ちを整えておきましょう。

・・・対策・・・

今年の内定者のほとんどは試験の半年前頃から対策を開始しました。「自身の専攻に近い科目を選択することで勉強効率を上げる」「時間をかけても大きく得点に結びつかない」などが理由として挙げられました。また、森林・自然環境区分の問題は森林・林業白書から出題されることが多い傾向にあります。そのため、他の技術系区分の試験と異なり、法律や制度に関する問いが多く、古い年度の過去問だと情報のアップデートがされていないデメリットもあります。このことから、多くの演習を積むよりも白書を読み込み、知識のインプットを重視することが大切と言えます。

専門多岐試験の勉強開始時期

■ 2022年1月以降 ■ 2021年10月~12月 ■ 2021年7月~9月



今年の内定者は「森林環境科学・森林資源科学・森林生物生産科学」「森林環境科学・森林資源科学・造園計画(自然公園)」「砂防学基礎・砂防工学・流域管理」の3パターンに分かれる傾向にありました。ほとんどの内定者が自身の専攻に近いことや大学の講義で学んだこと、上記の3パターンは出題範囲や内容が被ることも多を選択科目の理由として挙げています。(内定者の一人はどの科目を選択したか忘れてしまったという人もいました…)

対策は過去問を中心に勉強した内定者が多くいました。人事院から取り寄せる専門多岐試験の過去問は正答番号は付いてきますが、解説などは一切ありません。なので、過去問を解いた後は、自作の解説集を白書や森林・林業実務必携、論文や各省庁のHPなどを利用して作成し、それを読み込んで知識として定着させる、という手法で勉強を進める内定者が多い傾向にありました。また、一つの年度の解説集を作成するだけでも相当の労力が必要となるので、早めに取り組むべきだったとの声もありました。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

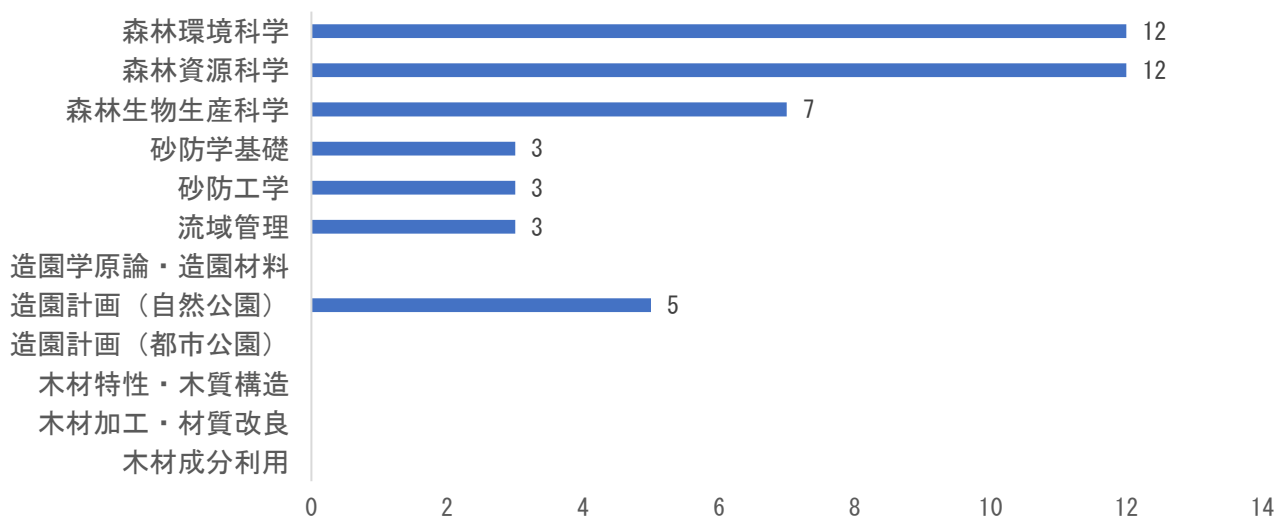
内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

対策 Tips

- ・白書やインターネットを活用しながら過去問の解き直しをした。問題一つ一つに対して、正解の選択肢だけでなく、不正解の選択肢についてもなぜ不正解なのかを調べてノートにまとめた
- ・試験時間は十分あるので、時間に関するシミュレーションはあまり必要ないと感じた
- ・数年分を解説作成用として解き、数年分(なるべく最近に近いもの)を腕試し用として解いた
- ・分野によっては計算問題も出題されるため、公式の理解などもしておく

専門多岐試験の選択科目



アドバイス

- ・最新のデータが必要な分野（森林面積や林業従事者数）は年によって数値が変わるため、**過去問の内容を鵜呑みにしない**ように注意する
- ・文中の選択肢の書き方は2次試験の専門記述の解答として参考になる
- ・話題の分野や近年創設・改正された施策を調べて、**出題範囲を予想する**

反省

- ・2次試験の専門記述を見据えて、語句の説明はある程度自力でできるようにしておけば良かった
- ・インターネットや専門書で調べてもすぐにわからない問題に執着してしまい、無駄に時間を割いてしまった
- ・古い過去問での法律や制度と最新のものを混同してしまった

オススメ参考書

- ・森林・林業白書（林野庁）
- ・森林・林業実務必携（朝倉書店）
- ・砂防学、新砂防工学（朝倉書店）
- ・環境白書（環境省）
- ・世界森林資源評価（FRA）
- ・森林水文学（文栄堂出版）

2-4 第2次試験

第2次試験では、①専門記述式試験、②政策論文試験（大卒）、②’政策課題討議試験（院卒）、③人物試験の3つの試験が実施されます。また指定された外部英語試験のスコアなどを提出することでそのスコアに応じて15点または25点が加算されます。

第2次試験は2日に分けて実施されます。

大卒の場合は、①②が同日に実施され、③人物試験は受験者によって異なりました。

院卒者試験の場合は、①のみ全員同日に実施され、②’③は受験者によって異なりました。

なお、総合職試験の最終合格者は、各試験種目の成績を総合して決定されます。

< 専門記述式試験 >

専門記述式試験の森林・自然環境区分では、4科目の中から1科目を選択します。

1科目ごとに用意されている3つの問題から、2つを選択して3時間30分で解答します。

選択科目は「森林科学に関する基礎」「国土保全に関する基礎」「自然環境・公園緑地に関する基礎」「木材等林産物に関する基礎」の4科目です。

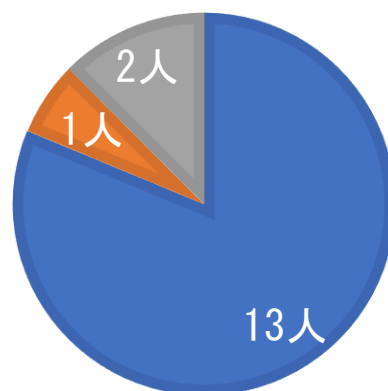
..対策..

今年の内定者は1次試験以降に対策を開始する傾向にありました。多くは、専門多岐試験の勉強の延長と位置付け、過去問を解き解説を作成する勉強法を取っていました。また、専門記述試験は解答が付いてないので、自分で作成し採点する必要があります。指導教員や専門家に添削を依頼している内定者もいました。

専門多岐試験とは異なり、要点を押さえて相手に伝える解答を記述することが大切です。

専門記述試験の勉強開始時期

■ 1次試験以降 ■ 2022年1月以降 ■ 2021年10月~12月



今年の内定者の多くは「森林科学に関する基礎」を選択していました。森林科学に関する基礎は白書からの出題が多く、出題範囲が絞りやすい、勉強効率が良いといった理由が挙げられていました。一方で、専門多岐試験での選択科目の延長となる科目や自身の専攻と関連のある科目を選択した内定者もいました。短い期間の中で効果的なアウトプットが期待できるよう、戦略を立てて科目を選択することが大切です。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

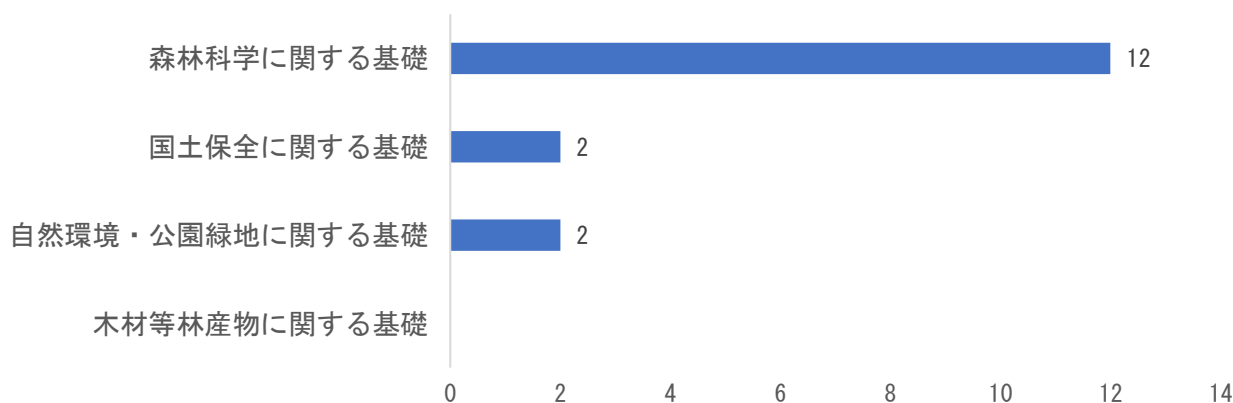
併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

専門記述試験の選択科目



対策 Tips

- ・ 過去問をベースとして答案を作成し添削することを繰り返した。同じ問題を何度も解き直すことで、解答を身体に染み込ませた。
- ・ 木材の需要供給の変遷や野生鳥獣対策、森林の多面的機能といった過去に複数回出題されている内容はしっかりと記述できるよう解答を頭に叩き込んだ
- ・ 専門多岐試験よりも正確な知識や制度の理解が問われるので、しっかりと白書を読み込むことが求められる。その時に専門多岐試験で作成した解説集を何度も読み返すと良い

アドバイス

- ・ 解かないにしろ 10 年分くらいの過去問に目を通し、出題の傾向を把握する
- ・ 白書の本文だけでなくコラムもしっかり目を通した方が良い
- ・ 手を動かして問題を解くのではなく、用語や数値などの暗記を徹底した

反省

- ・ 専門多岐試験の過去問だけやっていたため、文章に対して正誤の判定しきれなくなっていたのは良くなかった
- ・ 一つの問題で様々な分野の知識が求められるため、〇〇分野だという先入観を持たないようにすべきだった

オススメ参考書

- ・ 森林・林業白書（林野庁）
- ・ 環境白書（環境省）

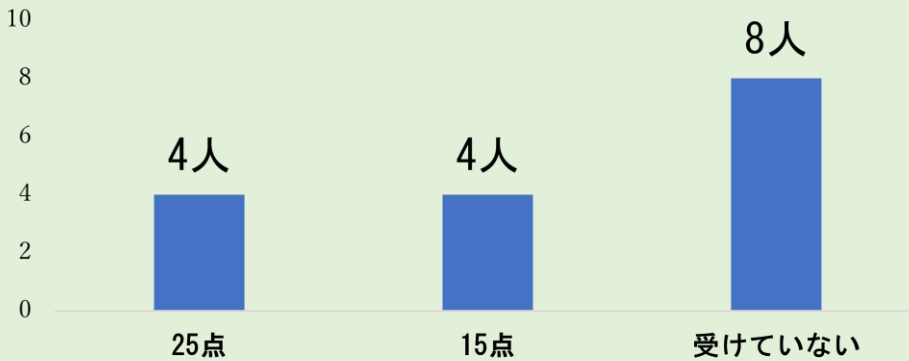
内定者の多くは専門多岐試験で使用したものを引き続き利用していました。特に、白書を自分の言葉で説明できるようになるまで読み込むことを意識していました。また、生物多様性国家戦略や森林・林業基本計画といった国の基本計画も参考となる場合があります。これらはそのまま官庁訪問でも役立つため、時間がある時に目を通しておくと良いでしょう。

～コラム「英語試験による加点」～

2次試験の人事院面接時に民間の英語試験のスコアを提出すると、最大25点の加点を受けられます。利用できる英語試験はTOEFL (iBT)、TOEIC (Listening & Reading Test)、IELTS、**実用英語技能検定(英検)**の4種類です。必要なスコアと加算点に関しては、**国家公務員試験採用情報NAVI**の受験案内でご確認ください。

今年の内定者では利用した人、利用しなかった人が共に半数でした。基礎能力試験の英文解釈の勉強になるだけでなく、加点を受けられれば精神的アドバンテージにもなるので、時間に余裕のある人は取ることをオススメします。

英語試験による加点



< 政策論文試験 >

大卒程度試験の受験者のみが受験する試験の一つです。

試験時間は2時間で、1題の論文試験を解答します。政策の立案に必要な能力、判断力、思考力等について問われる試験です。答案作成時の参考資料には英文も含まれます。

・・・対策・・・

ほとんどの内定者が1次試験合格後に対策を開始しました。トピックを絞った対策は難しいとする一方で、記述をする際の基本的事項や日々の生活で社会問題に対して関心を持つなど、普段の学習と並行しながら「自分の頭で考える」ということが大切です。

アドバイス

- ・ 過去問から出題されそうなテーマを予想し、それに対して自身の意見を考えておく
- ・ 文章構成や、論理展開、送り仮名の付け方、問題提起の仕方といった記述の基礎を身につける
- ・ 普段から社会問題や時事にアンテナを張り、現在の日本や世界の政策、先進的な事例などを学ぶ

反省

- ・ 原稿用紙の使い方を間違ったので、基本的な書き方は見直しておくこと
- ・ 試験時間が意外と足りないので、普段の演習から意識しておくこと

< 政策課題討議試験 >

院卒試験の受験者のみが受験する試験です。

6人1組（当日の減員あり）で与えられた課題について討論します。

流れは以下の通りです。（2022年度の場合です。コロナ禍で若干変更になる可能性はあります。）

- ① 課題と参考資料（英語含む）が印刷された冊子を参考にして、課題への賛否とその理由についてのレジュメを作成（20分）。
- ② 部屋を移動。グループ全員分のレジュメのコピーが配布され、黙読（2分）。
- ③ 各自、自分のレジュメ（自分の意見）についてプレゼン（1人3分）
- ④ 討議（30分）
- ⑤ 討議内容を受けて、自分の意見をまとめる（5分）
- ⑥ 再度自分の意見を発表（1人2分）

..対策..

ほとんどの内定者が1次試験合格後に対策を開始し、流れの確認や先輩の体験談を聞くなど、対策の比重は少なめでした。しかし、ぶっつけ本番ではなくレジュメの書き方を決めておく、一度は似たようなGDに参加してみるなど、どの内定者も他の試験勉強の妨げにならない程度には対策を行っていました。

アドバイス

- ・研究室やゼミでのディスカッション、民間就活のGDやインターンシップの経験が活きる
- ・レジュメを書く時間が意外と短いので、ある程度事前にフォーマットを決めておく和良好的
- ・議論では、参加者の意見を踏まえた上で自分の意見を述べるように心がけ、会話のキャッチボールを意識する。自分だけが話しすぎないようにする。
- ・発言者の目を見る、話すときは全体に視線を動かすといった議論の所作にも気を配る
- ・書いたレジュメは全体に配られるので、最低限は読める字で書くこと
- ・（コロナ禍は）アクリル板がありマスク着用なので普段よりも大きな声で発言する

< 人物試験（人事院面接） >

受験者1人に対して面接官3人で行う、15~20分程度の面接試験です。面接カードは、事前にインターネット上でダウンロードして記入します。当日は原本とその写しを提出し、それを基に面接試験が行われます。

..対策..

どの内定者も自己分析や面接練習の中で、客観的なフィードバックをもらうようにしていました。筆記試験とは異なり、定量的な評価が難しく、また得点するポイントも明瞭でないのが人物試験です。面接の基本事項を押さえておくことは勿論のこと、立ち居振る舞いや他人から見た自分の性格や持ち味を知ることが大切です。また、政策課題討議と同様に、会話のキャッチボールを意識して、限られた時間で面接官に最大限自分をアピールできるようしっかりと準備をすることも大切です。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

面接カード対策

面接カードは人物試験を攻略する上で最強の武器となります。しっかりと自己分析をして、面接官に伝えたいことは何か、伝えるために選択する文言は適切か、そもそも読みやすいかなど、時間の許す限り面接カードを作り込み、臨みましょう。

面接カードを書く上でのアドバイス・反省

- ・自分のどんなところを伝えたいのか(強みや仕事に活かせる能力など)を決めてから、それに合わせてエピソードを選んで書くべきだった
- ・手書きなので誰が見ても読みやすい字と文字間隔を意識し、目を留めてもらいたいキーワードを濃くしたり強調したりすると良い
- ・自分が伝わると書いて書いたものであっても、**読み手によっては違う受け取り方になることがあるので、できるだけ多くの人(友人や両親、キャリア相談室の職員)に読んでもらうと良い**

面接対策

面接カードが書き終わったら、次はそれを基に面接練習を重ねましょう。どれだけ読み応えのある面接カードを書き上げたとしても、面接官が見ているのは紙ではなく貴方自身です。面接の基本となる姿勢や入退室の手順、敬語は確認しておきましょう。また、人物試験は面接カードに沿って行われますので、質問を想定することも大切です。その受け答えを考える中で、さらなる自己分析や面接カードの改善にも繋がります。また、実際に面接が始まったら、やれることは多くありません。面接は対面で行われるので、入退室やお辞儀、声の大きさや目線といった所作の一つ一つに気を配りつつ、いつも通りの自分を面接官に見てもらうことだけ考えましょう！面接といえ、どれだけ面接カードを練り上げたか、基本のマナーを身体に染み込ませたかといった、それまでの準備が成果として現れるはずですよ。

当日までのアドバイス・反省

- ・「なぜ公務員なのか」「なぜ国総なのか」「訪問省庁の軸は何か」「国家公務員としてどう活躍できるか」といった、**公務員に特化した質問**に対する解答は明確に考えておくことが良い
- ・**民間就活で場数を踏んでおく**ことは大きな強みになる。もし民間就活をしていなくても、面接の模擬練習はキャリアセンターや友達同士でしておくことをオススメする。想定外の質問が来ても焦らず受け答えができるよう、経験を積むことが大切だ
- ・相手の目を見る、質問者の方向に体を向ける、マスク越しでも伝わるようハキハキと喋るといった基本的なことは自然とできるように練習しておく

多くの内定者が想定問答を作成し、練習を積み重ねていました。一方で、話のタネを準備しておき、その内容を自分の言葉で伝えられるようにすることが大事だとする内定者もいました。いずれにせよ、**自分で考え抜き自分の言葉で話すことが大切です**。

面接のアドバイス・反省

- ・質問ばかりを考えて、入室手順などの基本事項を疎かにしてしまい焦った
- ・面接室を出る際の順番を間違え、ドアストッパーを持ったまま退室の挨拶をしてしまった。決められた型をそのまま実行するのではなく、**臨機応変に対応する力**も必要だと感じた
- ・面接に慣れておらず、不要なことを口走ってしまった。民間企業にもエントリーするなどして**面接に慣れておくべき**だった

事前に分かること(入退室の基本や敬語)はしっかりと準備しておきましょう。しかし、本番は不測の事態がつきものです。やれるだけのことはやったと自信を持ち、当日は面接官に自分を知ってもらうことだけを考えて、あとは大きく構えて臨みましょう！

政策論文試験・政策課題討議・人事院面接のオススメ参考書

- ・公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント(実務教育出版)
- ・公務員試験 無敵の論文メソッド(実務教育出版)
- ・公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本(実務教育出版)
- ・現職人事が書いた「自己PR・志望動機・提出書類」の本(実務教育出版)
- ・受験ジャーナル(実務教育出版)
- ・公務員試験 面接の秘伝 2023年度採用版 受験生のつまずきポイントがわかる!(TAC株式会社出版事業部)

～コラム「人事院面接での質問」～

人事院面接は事前に提出する面接カードに沿って3人の面接官から順番に質問されます。行動動機や思考過程を聞くコンピテンシー型で行われます。

5W1Hを意識して面接カードに書くようにしましょう。また、「なぜ公務員/国家公務員なのか」「民間ではないのか」といった公務員特有の質問に対する自分の考えを持っておくと、変化球の質問が来ても芯がブレずに答えられるはずです。

〈内定者が実際に受けた質問例〉

- ・公務員になろうと思ったきっかけは何か
- ・(志望省庁の記入欄を見て)なぜこれらの省庁を志望しているのか
- ・(大学時代に取り組んだことについて)なぜ取り組んだのか、学んだことはあるか
- ・国家公務員になってから具体的に組みたいことはあるか
- ・研究テーマを選んだ理由

3. 官庁訪問

国家総合職試験を晴れて合格！しかし、本当の戦いはここからなのです…

国家公務員採用試験の最終合格＝採用ではありません。一言で表すと、国家総合職試験の合格は官庁訪問に参加するための切符です。受験者が志望する省庁を訪問し、1日の間で各省庁の第一線で活躍されている職員から業務説明や面接、を複数回受けます。受験者はそれを踏まえて、自分がやりたい仕事は何か、
どういう職場で働きたいか、自分のやりたいことができる省庁はどこなのかなどを考え、自分の能力や思いを伝えてアピールします。官庁訪問とは、言わば**志望省庁と受験者のマッチングの場**です。

つまり、志望する省庁に採用されるための重要なステップ（採用選考活動）です。採用されるためには必ず官庁訪問へ参加し、志望省庁から、内々定や内定を得る必要があります。

2週間にわたる長丁場の中で、志望省庁に関する知識や理解をより深め、積極的に自己をPRし、悔いのない決断をしてください！

3-1 官庁訪問のスケジュール

官庁訪問は全5クールに分かれています。日程が進むにつれて訪問できる省庁は減っていくため、最初の第1、第2クールでしっかりと業務説明を受け、省庁理解を進めておく必要があります。

第1、第2クールでは、同一省庁への訪問は3日間のうち1回まで（同一省庁に2回訪問不可）となります。そして、第5クールでの訪問を以て、内々定となります。

また、例年最終合格者発表日から訪問開始日まで日数があまりないので、前もって準備しておくことが大切です。合格しているか分からない中での対策はあまり身が入らないかもしれませんが、ここでしっかり備えておくことが長い官庁訪問を突破することにも繋がります。

官庁訪問は既合格者向けに6月上旬にも実施されますが、林野庁総合職技術系の既合格者向けの官庁訪問は例年実施されていません。

	6月					7月						
日	20	21	22	23	24	27	28	29	30	1	4	5
曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火
			第1クール			第2クール		第3クール			第4クール	第5クール
	最終合格者発表日		訪問開始日			休み					休み	内々定解禁

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

3-2 官庁訪問対策

官庁訪問は最後にして最大の関門です。試験全体で言えば総合職試験の方が長いですが、実施期間で言えば官庁訪問はおよそ2週間あるため、強靱な体力・精神が求められます。そこで最高のパフォーマンスを発揮するためには、事前の準備が欠かせません。しかし、それは志望する省庁の政策や制度をたくさん覚えれば良いということではありません。(他省庁の中にはあるかもしれませんが少なくとも林野庁は違います。) 相手を知るだけでなく、己を知ることもまた大切です。自分のやりたいこと、強み、弱みなど、自分を深く知ることで、省庁とのマッチングを考える上での判断材料になりますし、自己アピールにも繋がります。

官庁訪問に向けての情報収集

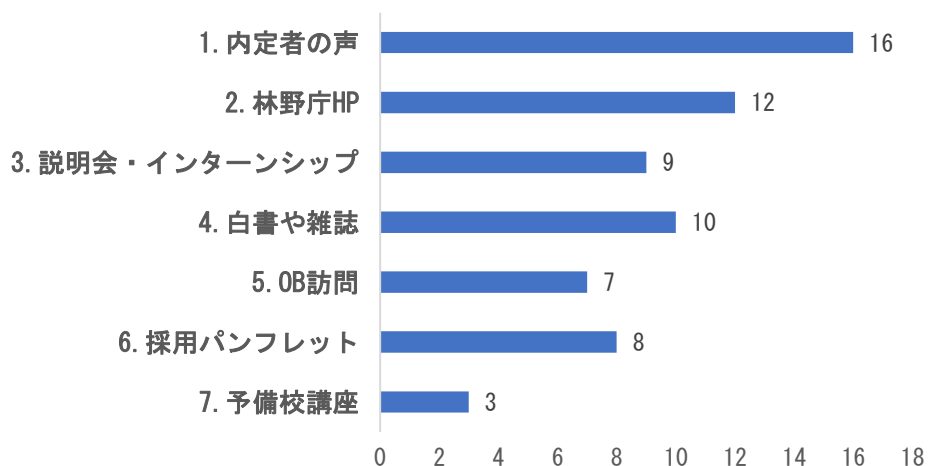
今年の内定者もそれぞれが準備を重ねて官庁訪問に臨んでいました。特に、官庁訪問は様々な流言飛語が拡散されています。精神的にキツク感じる官庁訪問前は、こういった根も葉もない噂に飛びつきたくなるでしょう(自分もそうでした)。しかし、多くは出どころも分からず真偽不明なものばかりです。中には事実も紛れているかもしれませんが、それらに振り回されて時間を浪費したり諦めたりしては勿体ないです。一方、情報を持たなすぎて本番焦ってしまうことも、本来の実力を十分に発揮できず後悔するかもしれません。故に、正しい情報をいかに集めるかが、官庁訪問突破の鍵になります。噂は噂程度に留めておき、自分が信頼できると思った情報を使って準備を進めることが大切です。

今年の内定者たちがどのように官庁訪問に向けて情報を集めたのか、複数回答の上グラフにしました。

今年の内定者全員が、先輩方の「内定者の声」で情報を集めていました。内定者の声は、「官庁訪問全体」に対する漠然とした情報ではなく、「志望する省庁」独自の情報を集めることができます。しかし、結局は、採用担当ではない“内定者”の言であることを留めておきながら、100%信頼するのではなく、一つの武器と捉えるくらいがちょうど良いと思います。

また、林野庁 HP や白書等を使って情報収集した内定者も多くいました。これは、官庁訪問の実態に対する情報ではなく、その省庁の政策や制度、強みや弱み、課題や今後の取り組みといった、「省庁を知る」ことを目的としたものです。官庁訪問は政策知識バトルではないですが、その省庁が自分のやりたいこととマッチしているのかを考える上で、その省庁について知ることは大切です。内定者の中には、前日に準備をした猛者もいました。しかし、官庁訪問では逆質問の時間も多く用意されており、自分の疑問点を政策のプロに直接聞ける貴重な機会なので、しっかりと備えておくことが良いでしょう。

官庁訪問に向けての情報収集



内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

特に林野庁では官僚系 YouTuber 「BUZZMAFF」を通して情報発信もしています。内定者の中には、BAZZMAFF を通じて情報収集をした人や、官庁訪問で BAZZMAFF の話で盛り上がった人もいたようです。

・・身上書対策

林野庁の官庁訪問は、身上書といういわゆる ES(エントリーシート)を事前に記入し、提出する必要があります。官庁訪問の面接では、この身上書をもとに職員の方から様々な質問がなされます。したがって、この身上書をしっかりと書き上げることが官庁訪問突破には必要不可欠です。

2022 年度の身上書には、「長所や短所」「志望動機」といった一般的な問いから、「あなたが考える農林水産省が対応していくべき課題とその解決方法」という特殊なものまで多岐にわたる問いがありました。したがって、この身上書を書き上げるだけでなく、面接官からされそうな質問までを予測し対応できるよう入念に準備することが大切です。特に、この身上書は官庁訪問を通して使用されるので、合格発表日を待ってから書くのでは時間が足りず、納得のいく身上書を書くことは難しいと思います。事前に準備を開始しておくことが大切です。

また、身上書を作成する上で、多くの内定者が自分の身上書を他人に見てもらい、アドバイスをもらうようにしていました。特に、友人や同じ公務員志望の仲間だけでなく、様々な人にみてもらおうと良いです。例えば、世代の離れた親や就職支援課の職員のような大人。または、自分をよく知る信頼できる友人と自分の事を全く知らない人の両方に見てもらおうなど、多角的に身上書を読んでもらえるような工夫をしている内定者もいました。

さらに、省庁ごとにファイルの提出形式が異なることにも注意しましょう。省庁が用意した Word や Excel に記入してそれを送付するタイプや、省庁が用意したサイトに記入して申し込みを行うタイプなどがあります。内定者の中には、Excel だけでなく PDF ファイルも合わせて送ることを忘れた人や、ファイル名の指定を無視して送付した猛者もいました。皆さんは、しっかりと決められたルールには目を通し、余計な心労を受けないように注意しましょう…(採用担当からのメールは確認次第返信も忘れずに！)

身上書作成のアドバイス

- ・自分のアピールポイントと総合職として求められる能力がマッチしていることを示せるように様々な設問に対して異なる経験を書いた
- ・パッと面接官が読んでわかりやすく書くとともに、突っ込みやすい部分を作っておきました
- ・公務員試験を受験する友人とお互いの身上書のわかりにくい場所を指摘し合った
- ・「林野庁でないとダメな理由」をしっかりと伝えることが出来るように気をつけた
- ・面接官に伝えたい自分の軸やアピールポイントを決め、そこに経験や強みを肉付けした
- ・ファイルの提出様式やファイル名などが指定されていることがあるため、しっかりと確認して送るようにする
- ・他省庁も併願する場合、各省庁に送る面接カードを期日までに書き上げなければならず、時間的にも足りず、内容を精査することも求められるため、**早め早めに準備を始めるべき**

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

～コラム「官庁訪問中の休日の過ごし方」～

官庁訪問はおよそ2週間の長丁場となります。そして、2022年度の官庁訪問では、期間中に土日が2回あり、官庁訪問は実施されません。特に、最初の土日は心身ともに疲労のピークになります。そんな中、内定者はどのように過ごしたのでしょうか。

- ・第1クールで聞いたことを整理した上で、第2クールに向けて考えを改めてまとめた
- ・家族や友人と会い、カードゲームや美容院など好きなことをしてリフレッシュに努めた
- ・研究や野外調査をした
- ・第2クールから対面での面接だったので、土日間に東京に移動した

それぞれが自分なりの過ごし方で土日を有効に活用していました。入念な準備も大切ですが、しっかりと気持ちを切り替えて第2クールに臨むことも必要です。

官庁訪問中の対策

実際に官庁訪問が始まりました。心身ともに過酷な二週間ですが、政策の最前線で働く職員の方々から様々なお話を伺えるだけでなく、自分についてとことん考える良い機会にもなります。そんな二週間で、今年の内定者たちはどのように過ごし乗り越えていったのでしょうか。

まず、訪問中に意識したことを聞いてみました。

多くの内定者が、採用プロセスの一つであることは頭の中に留めておきつつ、官庁訪問自体を楽しむよう心がけていました。説明会では聞けず、入省してからでは利害関係故に聞けないようなお話を伺える貴重な機会です。職員の方からの熱いお話は心に残り、その後の公務員人生の目標にもなります。また、職場での面接では、実際の庁舎を歩き回り、職員の方々が働いているすぐ隣で面接を受ける機会もあります。その時の庁内の雰囲気や職員の方々の印象といった肌感覚から得られる情報も、自分にマッチした省庁はどこなのかを考える際の判断材料にもなります。庁内での面接は緊張も伴いますが、実際に自分が働く姿をイメージできる良い機会にもなるので、最大限楽しみましょう！

次に、マナーを挙げる内定者も多くいました。第2クールからは実際に霞ヶ関を訪ねて面接する省庁も多く、オンライン面接とは異なったマナーが要求されます。姿勢や一挙手一投足に気を配るだけでなく、声の大きさや抑揚、姿勢や笑顔など、今後社会人として入省しても問題ないと思ってもらえるように最低限のマナーを意識するようにしましょう。

さらに、作成した身上書をもとに想定問答集を考えた内定者も多くいました。(内定者の中には、Wordで30ページにもわたる想定問答集を作成した猛者もいました)備えあれば憂いなしと言うように、万全の準備をすることが自信にも繋がります。一方で、回答を練るうちに誦じれるくらいに暗記することもあるかもしれませんが、本番はなるべく自分の言葉で考えながら伝えられるようにしましょう。面接官が見たいのは、どれだけ準備してきたかではなく、貴方の性格や思い、どのような経験を経て今の貴方が形成されてきたかという点だと思えます。準備や対策にしすぎるということはありませんが、全てを網羅して対策しきること

はできません。突然の対応をどのように乗り切るかも、官庁訪問では見られるポイントになるので、準備は入念に、訪問はゆったりと構えられるくらいが良いと思います。

官庁訪問中に意識したこと

- ・あまり気負いすぎず、社会見学で省庁を訪問させてもらうくらいのつもりで訪問に臨んだ
- ・姿勢や笑顔、受け答え、入退室の所作、声の大きさなどの最低限のマナー
- ・一つ前の面接で伺った内容を自分の中で整理し、そこから何を学んだのか、自分の考えはどのように変わったのかなど、官庁訪問の期間内で成長を見せるよう意識した
- ・緊張して早口にならないよう伝えたいことは明確に頭の中に残しておいた
- ・想定問答は事前に準備しておくことは必要だが、それを完全に暗記して答えるのではなく、伝えたいことの整理と位置付け、実際の官庁訪問の場では自分の言葉で相手に伝えること

しかし、官庁訪問中は一喜一憂の連続で、心身ともに疲労が蓄積していきます。それもあり、思ったことを話せなかったり、失礼な対応をしてしまったりと失敗することも多くあります。今年の内定者の反省点を踏まえて、官庁訪問ではこれらに気をつけるようにしましょう！

林野庁の官庁訪問は基本的に身上書に沿って実施されますが、深掘りや変化球の質問も多くあります。そういった質問に対応するためには、しっかりと身上書を練り上げることは大切です。また、自分の中に確固たる芯を持っておけば、そこに肉付けした回答をすることもできます。いずれにしても、官庁訪問前に自分の内面や考えをまとめておき、回答する上での引き出しを多く持つことが大切です。

また、オンライン/対面ともに官庁訪問を受ける上でのマナーや礼儀をもっと確認しておくべきだったと後悔する内定者も多くいました。質問に気を取られるあまり、所作を疎かにしてはいけません。そういった、基本的な部分でマイナスな印象を与えないよう、面接自体のマナーも備えておきましょう。

また、地方からの女性内定者の中には、東京の湿度の高さに苦労した人もいました。男女問わず、整髪をしておく不安要素を排除して面接に臨むことができます。

官庁訪問での反省点

- ・逆質問の時間が多くあるので、対策をしっかりとしておくべきだった
- ・オンライン面接の場合、部屋の照明や室温、ネット回線などの室内環境を整えておくべきだった
- ・身上書を早くに書き上げて、想定問答をもっと練っておくべきだった
- ・身上書の具体化や深掘りを多く聞かれたので、身上書をもっと掘り下げておくべきだった
- ・焦ると言葉遣いやマナーにまで気を配れなかったなので、もっと練習しておくべきだった

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

次に、官庁訪問ではどのようなことを聞かれるのか?という部分についてフォーカスしていきます。しかし、重要なことは以下に示す質問事項が必ず聞かれるとは限らないということです。なぜなら、林野庁の官庁訪問は基本的に身上書に沿って行われます。身上書の質問事項は皆同じですが、書かれている内容は人によって千差万別です。また、面接官が聞いてみたいと思うポイントも異なると思われます。なので、しっかりと身上書を書き上げ、それをもとに自身の内面と林野庁でのやりたい業務や課題を言語化できるように考えることが大切です。

官庁訪問で聞かれたこと一例

- ・ 志望動機
- ・ 卒業研究について
- ・ サークル活動/ゼミでの役割や苦勞したこと
- ・ 好きな筋トレの種目
- ・ 短所とそれに対する向き合い方
- ・ 訪問省庁の軸/理由
- ・ 身上書に書いてあること以外の林業の課題
- ・ 林野庁が抱える課題についての深掘り
- ・ 林野庁でやりたい業務
- ・ インターンシップに参加した感想
- ・ 全国転勤や海外勤務について
- ・ 長所とそれを活かした経験
- ・ 未踏の地でのコミュニケーションの取り方
- ・ アルバイト経験や大変だったこと



(農林水産省本省)

最後に、官庁訪問を通じた内定者たちのエピソードを紹介します。官庁訪問は人の数だけ物語があります。今年の内定者も様々な思いを胸に官庁訪問に臨みました。長く辛い総合職試験を突破し、省庁研究や自己分析といった入念な準備をして立ち向かう二週間。内々定を頂く上で避けては通れない関門ですが、貴重で濃密な二週間です。これを読んでいる方が、官庁訪問を楽しんで、有意義な二週間となれば幸いです。

官庁訪問エピソード

- ・他の省庁のインターンシップで知り合った方と林野庁の官庁訪問で一緒になり、それだけでもビックリしましたが、今では同期です。
- ・内定者の声に「控室では学生同士でいろいろ話せて緊張が解けました」と書いてありましたが、いざ入室したら静まり返っていました。自分から話し出す勇気もなくずっと無言のまま面接を迎えました。
- ・他省庁併願の関係で訪問日が3日目に変更になったので、林野庁の志望順位が低いと思われるのではないかと腹をくくりました。結果として合格を頂き、とてもほっとしました。
- ・短所の話をしているときに、それは公務員に向いていないと言われ、落ち込んだ。
- ・第一クールの際に、返信すべきメールに返信していなくて担当の方から電話が来ました。ばたばたしていてもしっかりと確認しましょう。
- ・面接中に室内からラジオ体操第一(農水省では15時に流れます)が流れて驚きました。
- ・東京での電車移動のシステムが分からず、ホテルに着くまで迷子になりました。
- ・本省での面接で緊張しすぎて、志望動機の途中で頭が真っ白になりましたが、面接官の方々が「大丈夫ですよ、緊張しないでくださいね」と笑ってくれたので、その後はいつも通り話すことができました。
- ・焦りや一喜一憂は禁物、と言われますが、実際は焦りもしましたし、落ち込むこともありましたが。焦る自分や落ち込む自分を受け入れることも時には必要だと感じます。

～コラム「地方からの官庁訪問」～

地方から官庁訪問をする場合、移動費や宿泊費は全額実費で負担しなければなりません。今年の内定者は全国各地から採用されています。彼らがどのように官庁訪問を乗り越えたのか見てみましょう。

宿泊費+交通費を合わせたボリュームゾーンは**2~3万円**でした。交通費が多くかかってしまう遠方からの内定者は宿泊費を抑えるなど工夫していました。

オススメの宿泊地を聞いたところ、やはり**霞が関から歩いていける距離**のホテルが挙がりました。東京の通勤電車に吞まれてペースを崩されないようにしましょう…

内定者の中には、友人の家や漫喫、空港(!?)に宿泊した人がいました。予算との兼ね合いになりますが、余裕を持った準備を早めに計画しておきましょう。

4. 併願対策

就職活動はこの先の人生を左右する大きなイベントの一つです。林野庁内定者 16 人も、それぞれ葛藤を抱きながら就職活動を進めていました。自分が目指す職種は何か、どこでなら自分のやりたいことが実現できるのか、自分の内面と強みを活かせる仕事は何か。今年の内定者は 10 人が公務員を併願し、7 人が民間企業を併願しました。それぞれの良かった点や大変だった点を聞いてみました。

4-1 公務員試験の併願

公務員試験を併願した 10 人のうち、全員が国家一般職を併願していました。また、次に併願の多かったのは地元の県庁でした。併願した公務員の職種はほとんどの内定者が林学系を選択しており、総合職の森林・自然環境との試験範囲を考えていました。

公務員試験併願先

- ・ 国家一般職
- ・ 県庁/都庁/道庁
- ・ 市役所
- ・ 独立行政法人の研究職

公務員試験との併願では、多くの内定者がそれぞれの試験勉強の両立が大変だったとしています。公務員試験は民間企業が課す SPI や玉手箱といった筆記試験とは異なり、しっかりとした専門分野の対策が求められ、自宅でいつでも受験できるわけではないことが、両立の難しさの理由となります。しかし、国家総合職は難易度の高い試験として位置付けられているため、国家総合職の勉強をしっかりと積んでいれば、他の試験はある程度カバーできるといった意見もありました。また、自分は施策立案がしたいのか現場に近い場所で林業と関わりたいのか、自分のやりたいことは何か考える機会にもなります。

大変だったこと・良かったこと

- ・ 試験や面接の日程を把握し、それぞれに向けた勉強をすることが大変だった
- ・ 国家総合職は砂防分野を選択していたため、国家一般職の砂防分野以外の勉強との両立が大変だった
- ・ 国家公務員総合職の試験対策をしっかりしておけば、ある程度そのほかの試験は対応できる
- ・ どこにも合格しなかったらと不安だったので、多めに併願していて精神的に良かった

アドバイス

- ・ 地方上級の出願の様式はそれぞれ異なるため気を付けてください(この内定者は出願できなかったようです…)
- ・ 職種を絞ると、面接でも一貫性のある受け答えができるようになると思う
- ・ 林業系以外の試験区分を受験する際、うまく志望理由に絡められないこともありましたが、そのように併願で悩んだ時は、**将来どういう所で働きたいのか、どういう風に働きたいのか、1度立ち止まって考える機会だと捉えると、良いと思います**

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

4-2 民間企業との併願

民間企業を併願した内定者のうち、民間企業から内定を頂いた人は5人いました。併願した企業も多種多様で、事務職・技術職問わず、幅広く受けている内定者もいました。しかし、林業や環境に関わる企業であれば、志望動機が練りやすいだけでなく、「なぜ同じ林業に携わる仕事であっても公務員なのか」という部分を考えることもできます。そうでなくとも、「なぜ民間企業ではなく公務員を進路選択で選んだのか」を考えることは人事院面接や官庁訪問をする際に、そこでなくてはならない理由を言語化する上で役立つはずです。また、院卒の内定者の中には学部時代に民間の就職活動をしたという人もいました。自分の進路選択を考える上で、決められた期間だけに固執せず、多くのことにチャレンジすることも大切です。

民間企業併願先

- ・コンサルタント
- ・メーカー
- ・サービス業
- ・環境系企業
- ・シンクタンク
- ・IT企業
- ・金融エンジニア
- ・専門商社
- ・木材系企業
- ・サービス業



民間企業との併願では、多くの内定者がスケジュール管理が大変だったとしています。民間企業は、ESの提出からインターンシップの参加、GD、複数回にわたる面接など選考過程が多岐にわたります。一方で、7人全員が民間企業との併願をして良かったと言っていました。「内定がある」という精神的な余裕を持って公務員試験に臨めるだけでなく、自己分析や選考での経験が公務員試験や官庁訪問に活かせることや、民間も見ることによって公務員の良し悪しを改めて考えることができたことを利点として挙げています。

2023年度からは総合職試験の前倒しが決まっていますが、民間企業の選考は比較的、公務員試験よりも早く始まる傾向にあります。気になる企業がある人は早めの情報収集を心がけ、積極的にチャレンジすることをオススメします。幅広く選択肢を考えることは、結果として納得のいく就職活動に繋がると思います。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

大変だったこと・良かったこと

- ・民間就活をしていた友人たちが内定をもらって就活を終えていく中で、公務員との二足の草鞋という進路が決まっていなかったことは想像以上に不安になりました
- ・公務員が第一志望だと、「うちが第一志望ですか？」の質問に対しての正しい答えが分からなかった
- ・民間企業の選考やインターンシップでの面接や自己分析、GDなどが**国家総合職試験や官庁訪問に向けた経験値**になり、場数を踏むことは大事だなと思った
- ・民間企業のインターンシップに参加したことで、**業務フローやニーズを知ることができ、視野が広がった**。今後、民間企業の方と仕事をしていく時にも活かせると思う

アドバイス

- ・色々な業界を見る中で、社会において企業がどのような役割を担っているのかを知ることができ、公務員に対する見方も変わり、**進路選択のミスマッチを防ぐ**ことができると思う
- ・様々な業種を見て自分の選択肢を広げてから選ぶことで、納得できる就活になると思う
- ・なぜ公務員なのか、なぜ総合職なのかを考えたときに民間企業との比較は判断材料となるだけでなく、幅広く見た上で公務員を選んだと面接官に伝えることで、説得力も増す
- ・内定を持って試験に臨めることは強い精神的なアドバンテージになる

最後に、なぜ民間企業ではなく公務員を選んだのかを聞いてみました。「総合職の働き方はブラックだ」「民間企業に行った同期よりもお給与が低い…」という話を聞く機会は多くあります。しかし、国家公務員でなければできない業務が霞が関にはあります。内定者16人は、自分のやりたいことと働き方、生活などを総合的に考えて、この道が最良の選択になると信じて林野庁で働くことを決意しました。民間企業でもその他の公務員でも、林野庁総合職でも、実際に働いてみなければ分からない苦労や楽しさはあると思います。自分が持っている情報と、やりたい仕事、人生で重視するものなどを踏まえて、決断しなければなりません。

なぜ民間企業ではなく公務員を？

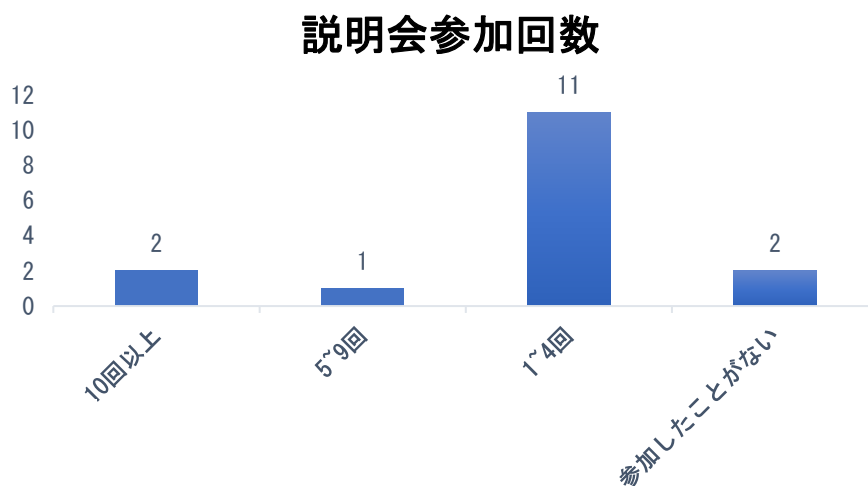
- ・国家公務員、特に総合職はワークライフバランスの面で苦労することは聞き及ぶところだと思います。しかし、官庁訪問を通して様々な話を伺い、自分の人生を賭してもやりたい仕事がここにはあると思いました。
- ・国家公務員を第一志望だと考えていたから。
- ・民間企業の頑張りを後押しする存在になりたいと思うようになったから。
- ・民間企業では難しい、包括的な仕事ができると思ったから。幅広い分野を扱う公務員の方が自分には合っていると感じた。

5. 説明会対策

林野庁では、通年を通して様々な場所で説明会が開催されています。大学での業務説明会や人事院主催の公務研究セミナーなどがあります。説明会は、採用を希望される方に今後の就職活動を行う上での参考として林野庁の施策等を理解いただくための啓発活動の一環です。そのため、説明会への参加の有無が今後の採用選考のプロセスに影響するものではありません。

今年の内定者は16人中14人が少なくとも一回は説明会に参加していました。内定を頂く上で、説明会の参加回数や参加の有無は問われませんが、説明会に参加し正しく業務を理解することは、ミスマッチを防ぐことにも繋がります。研究や授業の兼ね合いで説明会への参加が難しい時は、採用担当者に連絡するのも一つの手です。

また、気になる省庁はすべて参加することをオススメします。様々な省庁の説明会に参加することで、省庁ごとの雰囲気の違いを感じることができます。そこでの空気感や参加している学生、職員の方の雰囲気も含めて、自分にマッチしているか考えることも大切です。



また、説明会に参加すればそれで良いというわけではありません。説明会で聞いたことを踏まえて、自身の進路選択に反映させることが大切です。そのためには、職員の方の話をしっかりと聞き、疑問点などがあれば質問して消化する。ただ漫然と参加するのではなく、参加した上で説明会を活用することが大切です

内定者たちの説明会活用術

- ・ 質問は必ずしなければならないということはありませんが、**何か一つ質問してみるという心構え**で話を聞いた方が、ただ漫然と聞くよりも記憶に残りやすい
- ・ 就職活動の開始時期の説明会は、林野庁を詳しく知るきっかけとして、就職活動後半では、自分の興味のある施策や志望動機を再確認する機会とするよう意識した
- ・ 数回参加した上で、共通する部分は重要なことだと思ったので自分でも詳しく調べた
- ・ 事前にパンフレットなどを読んでおき、**そこに載っていない情報**を聞き逃さないようにした
- ・ 自分の問題意識や志望動機と照らし合わせながら説明会を聞くと、身上書などを書くときに役に立つ

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

～コラム「インターンシップへの参加」～

コロナ禍の影響で、2020年の夏からインターンシップが一時期中止されていました。そのため、今年の内定者16人の中で参加したことがあるのは2人だけでした。しかし、インターンシップは説明会だけでは知り得ない学びの宝庫です。

- ・林野庁のインターンシップは1～2週間単位で行われるため、他の省庁よりも長期間職場を見ることができた。
- ・2～3日で行われる政策シミュレーションのようなキラキラした施策立案ではなく、書類作成やヒアリングなどの日々の業務を体験させてもらえるので、**働くイメージがしやすい**。
- ・職員の方との会話や課内の雰囲気、年の近い職員の方からのざっくばらんなお話を聞いて、**自分で調べたり聞いたりした情報とは比べ物にならないほどの学び**があった。
- ・志望動機の理由付けにもなり、また官庁訪問でもインターンシップでの体験に裏打ちされた発言は説得力が伴うと思う。
- ・林野庁に内定が決まった後、インターンシップでお世話になった職員の方に連絡をしたら、内定を喜んでくださり、これから働くことがより楽しみになった。

インターンシップは日数が長い分、授業や研究との調整が難しいですが、体験価値としても、林野庁の業務を知るためにも、機会があれば是非参加して頂きたいです！



6. 内定者プロフィール



T・I

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

野生動物管理学

警察庁・防衛省/民間企業

和太鼓・アニメ鑑賞

林野庁の志望理由は？

東日本大震災を契機として、公的な立場で、近年激甚化している自然災害から一人でも多くの方を守りたいという思いを達成するため、公務員を志望しました。中でも、森林の適切な整備と持続的な利用を通して、災害に強い国土、ひいては日本の発展に貢献したいと思い林野庁を志望しました。また、インターンシップを通じて穏やかな職員の方の雰囲気になじめ、同じ志を持って仕事に取り組めることも魅力に感じました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

何事も事前準備が大切です。自分の強みを伸ばすもよし、弱みを補強するもよし、期限までに到達すべき目標を定めてひたすら走り続けるのみです。そこで重要なのが、情報収集と休息です。自分が志望する省庁以外の内定者パンフも非常に参考になります。また、(自分がそうでしたが)たまにガス抜きをしないと潰れてしまいます。美味しいご飯を食べたり旅行に行ったり、心のバランスを保つことも時には大切です。二、三日休息に充てても他の日に頑張れば問題ないです。

民間就活との両立

民間就活をする予定の方、また現在進行形で苦労されている方、そのしんどさめちゃくちゃわかります。自分も本選考が始まりお祈りメールを貰い続け、公務員試験の勉強もしなければならず、周りが就職を決めていく中でとても苦しい思いをしました。しかし、二兎追うものはなんて言われますが、そこでの経験や考えたことは必ず官庁訪問、そしてその後の人生で活きてと思います。全部辞めたくになったら、バズマフでも見て適度に気分転換してから再出発しましょう！

後輩へのメッセージ

自分も先輩方の内定者パンフを見て、いつかはこれを書く側になりたいと思っていました。公務員試験はとても長い道のりですが、日本のため、人々のためという思いを仕事とする上で、国家公務員ほど適した仕事はありません。最後までやり抜くということは思った以上に難しいですが、その先に自分の叶えたい夢があるのなら、この一瞬は全力を尽くしてください。応援しています！！



I

修士2年・女

森林・自然環境(院卒)

森林生態学

環境省・地方上級・独立行政法人

ゲーム・漫画・アニメ

林野庁の志望理由は？

昔から環境に関わる仕事に就きたいと考えていたので、大学で学んだ森林生態学や森林保全といった知識を活かすことができ、特定の地域だけではなく全国の森林管理に携わることができる林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

官庁訪問に関しては難しく考えず、担当者の方と会話を楽しむ気持ちで臨むと良いかと思います。スムーズに会話ができないことには面接は始まりません！その上で自分の意見をしっかりと持ち、伝えることが大切だと思います。ちなみに面接練習はオンライン・対面どちらの練習もしておく安心です。

ストレス発散方法

休憩時間に時間を決めてゲームをすることで頭の中を切り替えていました。特に結果待ちの時間は余計なことを考えやすいので、ゲームに没頭することで上手く過ごすことができたと感じています。あとは、一区切りついたタイミングで少し遠出して温泉や岩盤浴に行ったりもしました。

後輩へのメッセージ

公務員試験は長丁場なので焦らずに！試験会場では周りがみんな優秀に見えて萎縮してしまうこともあるかもしれませんが、意識しすぎず平常心で頑張ってください！やる気が出ないときは誰にでもあると思います。そんなときは根詰めすぎずにリフレッシュしてくださいね

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



M.I

修士2年・女

森林・自然環境(院卒)

文化人類学

環境省

読書

林野庁の志望理由は？

人と森林の共生に携わりたかったからです。修士論文の研究調査において、持続可能な生活を志し農業などをされている方々と関わってきました。一緒に農作業をする中で、彼ら彼女らは、自然との身近なつながりを感じて生活していることに気づき、自然を大切に使い共生するためには、自然とのつながり作りへの働きかけが大切だと感じるようになりました。林業振興や、木材利用推進などで、自然との身近なつながり作りにかかわれるのは林野庁だと思い、志望するようになりました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

受験などを思い出しながら、自分に合ったやり方やってみるといいと思います。周りの友人もよく言っていましたが、なぜ落ちたか、なぜ内定を頂けたかは意外と分からないものでした。自分についてしっかりと説明できるよう努力し、あとは先方のご判断、ご縁があるかないかだと思います。自分ならできると思う事、でもすべてをコントロールはできないと思う事、この両立が大事だと思いました。

就活で大変だったこと

恥ずかしながらいつも課題は溜めてから焦る、受験は第一志望しか頑張れないタイプですが、一本に絞ったプレッシャー、研究を放り出している焦りと戦いながら、毎日新しい知識を詰め込むことはすごく大変でした。雑炊しか食べられなくなって痩せ、試験後は寝込みました。自分に合った方法をとっては申し上げましたが、どうかこれから公務員試験を受けられる皆様はくれぐれも心身を大切に、お過ごしいただければと思います。

後輩へのメッセージ

専門外、文系、修士2年になってから勉強を始めたという状況で、自分が内定者の声を読んでいた時は、まさか今年内定をいただけるとは、かけらも思っていませんでした。過去にも受かるとは思っていなかった、と書いておられた方は意外といます。自分の条件であきらめようとしている方がいたら、もったいないと思います！思わぬところにご縁があるかもしれません。



H.U

学部4年・男

森林・自然環境(大卒)

砂防学

国土交通省・愛媛県庁

読書・ラジオ・テニス

林野庁の志望理由は？

地元が豪雨で被災したことがあり、実際に自分の目で山地災害を見たことをきっかけに山地災害からの復旧や治山事業に携わる仕事がしたいと思い、林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

まず、教養試験についてですが、範囲が膨大なので配点が大きい分野に絞って勉強するのが良いと思います。次に、専門試験についてですが、私は二次の筆記試験から対策しました。二次試験から対策すると専門書をかなり読み込まないといけないため大変でしたが、その分一次試験の対策は楽になるのでお勧めです。4回生になると卒論のことも考えなくてはいけないので、早め早めの対策をしておくのが大事だと思います。

就活で大変だったこと、ストレス発散方法

就活で大変だったこと：田舎出身で旅行も田舎にしかほとんどいったことがなかったため、大都会東京での移動を学ぶのに大変時間がかかりました。いまだにわかりません。震が関に歩いて行けるホテルを選択した方がよいと思います。
ストレス発散：毎日公務員試験対策をしていると気が減ってしまうので、数週間に一回趣味の日を作り、思いっきり自分の好きなことをしてストレスを発散していました。メリハリが大事だと思います。

後輩へのメッセージ

公務員試験は長丁場であり、研究との両立で大変な期間が続くとは思いますが、体調に気を付けて頑張ってください。応援しています！

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



うみっち

修士1年・男

森林・自然環境(大卒)

集団遺伝学

環境省

車いじり・筋トレ・クワガタ採集

林野庁の志望理由は？

小さい頃から生き物や自然が大好きで、大学でも生物学を学び、フィールドにもたくさん行くことができました。こうした経験から、日本の生物多様性の現状について考えることが増え、生物や自然環境の保全に関わる仕事がしたいと考えるようになりました。民間企業ではどうしても私的な利益を追求しなければならないのに対し、官庁では社会の利益のために自然の保全や持続可能な利用を第一に考えられる点が自分に合っていると感じ、森林の生物多様性保全や林業の活性化を進める林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

森林・林業白書を読み込むことで専門知識の理解を深めました。また、それらの知識をもとに、今の課題は何か、自分のやりたいことは何かを考え、自分の言葉で説明できるようにしておくことをおすすめします。官庁訪問は穏やかな雰囲気、面接官の方は私の言いたいことを汲み取ろうとしていただけたように感じたので、何を伝えたいかをはっきりさせて面接に臨むようにすると良いと思います。

失敗談

就活の準備をするのが遅く、他の就職先についてあまり調べていませんでした。民間企業も含めて調べて、選択肢を広げて良かったのかもしれないと思います。また、一番興味のある分野以外でもインターンなどに積極的に参加して、見識を広めておくべきだったとも感じました。

後輩へのメッセージ

就活期間は自分を見つめ直す良い機会だと思います。就職先でやるのが全てではないと思いますが、人生の大きな転機だと思うので、悔いのないよう自分のやりたいことについてじっくり考えてほしいです。私は一度大学院を中退して、専攻を変えて再入学するという特殊な経歴だったのですが、それでも私のやりたいことを理解して採用していただけたのだと思います。どんな経歴の人も自分を信じて頑張ってください！



H.O

学部4年・女

森林・自然環境(大卒)

緑地環境情報学

警察庁・環境省/民間企業

植物同好会

林野庁の志望理由は？

大学での講義や卒業研究などを通じて、森林が多くの役割を担い人々の生活や地球環境の基盤となっていることを学び、森林の有する多面的な機能を十分に発揮させる取り組みに関わりたく考え、志望しました。自分の知識や経験を少しでも活かせるのではと考えたことや、私自身が自然の奥深さを好きなこともありそういった思いが積み重なって、林野庁を志望するに至りました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

時事問題や専門科目などの1次試験の内容は2次試験の記述試験だけでなく、人事院面接や官庁訪問の時にも活かせるものが多いと感じました。公務員試験は科目数も多く勉強時間の配分がしにくいと思いますが、1次試験の前も次に進めたときのことを考え、先を見据えて勉強すると効率が良いかもしれません。官庁訪問はとにかく、最後まで諦めない気持ちが一番大切だと感じました。

就活で大変だったこと

就活で大変だったことは、病気になるようにすることです。これは就活を控える学生なら誰でも注意することですが、私は特にそれを意識していました。ここで働きたい、という強い思いがあっても体調が悪ければチャンスをふいにしてしまうと考え、そうならないかととても不安でした。感染対策をすることは元より朝昼晩欠かさず食事をする、更に睡眠をしっかり取る、といった当たり前のことを疎かにせず、過ごしていました。

後輩へのメッセージ

就職活動は、自分の将来を決め、どのような形で社会に貢献していくのか考える期間です。一方で、社会に踏み出す前に周りへの感謝を忘れないことの重要性を再認識する機会になると思います。今は不安も多いと思いますが、辛いとき、嬉しいときも、ありのままの自分を受け止められる心を持ち、また、心身共に健康を保ち、頑張ってください。皆様がご自身の強みや長所を存分に発揮されますように。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



Y.O.

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

造林学

環境省・厚生労働省/民間企業

ポート

林野庁の志望理由は？

公務員でありながら、全国の広大な国有林の管理や経営にも関わっているというスケールの大きさに魅力を感じました！また、環境問題意識の高まりや木材の需要の高まりなど、これから盛り上がっていくであろう森林・林業にダイレクトに関わっていけるのも自分にとって非常に魅力的でした！

公務員試験・官庁訪問アドバイス

民間就職と比べてスケジュールや試験勉強などが違うので、色々不安になることも多いかと思いますが、スケジュールや勉強計画をしっかり立てて、プレずに実行していくことが一番大事だと思います。官庁訪問では、自分の想いを自分の言葉ではっきり面接官に伝えることが何よりも大事だと、実際やってみて感じました。

ストレス発散方法

ずっと勉強机で勉強するのではなく、研究や趣味・余暇との時間配分を決めていました。自然の中で試験勉強のことを忘れてぼーっとすることで頭の中をリセットできたので、外に出て自然の空気を取り込むことがストレス発散方法としておすすめです！ただ、その時間が長すぎると、勉強の内容まで飛んでいってしまう恐れもあるのでほどほどに・・・(笑)

後輩へのメッセージ

怪しいネットの情報にだけは振り回されないようにしてください！この内定者の声や先輩の体験談などで信頼できる情報を取り入れて、試験勉強に全集中していきましょう！また、一番最後に大事になってくるのは、相手にどれだけ自分の想い・熱意を伝えられるかだと思うので、自信をもって受け答えできるように準備して臨んでください！応援しています！



なるき

学部4年・男

森林・自然環境(大卒)

地域生態システム学

環境省・地方自治体/民間企業

ぶらり旅

林野庁の志望理由は？

森林を適切に管理する方々や木材を積極的に活用する方々が持っているポテンシャルを最大限に発揮できる環境を作り、日本の林業・木材業を力強いものになりたいと思い志望しました。森林の持続的な管理を進めていくことで、自然環境と経済活動の共存共栄を図ってきたいと思っています。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

何事も戦略的に。教養試験にしろ、専門試験にしろ、面接にしろ、完璧を目指すのではなく、効率的に合格を目指しましょう。試験については、点を確実にとるところと、捨てる所を明確に、面接については、面接官の質問を無防備に待つのではなく、面接カードや返答で自分の得意な質問に誘導しましょう。あと、私にとって最も重要だったのは、試験や面接の当日の朝に、必ず神社に行くこと。願掛けをすることによって、自分をマインドコントロールしていました。

就活で大変だったこと

就活で大変だったことは、気持ちを維持することです。面接の場数を踏むために、民間企業も複数併願していました。そのため、本格的な就活は1月ごろから始まり、官庁訪問まで、半年間以上ずっと気を引き締めている状態でした。周りの仲間たちはどんどん就活を終えていき、まさに一人で戦っていると感じていました。自分を鼓舞し、いかに気持ちを切らさないか、大変重要です。最後まで自分の気持ちを維持させたのは、自分のやりたいことを裏切っちゃいけないという想いでした。

後輩へのメッセージ

みなさんは自分の軸を持っていますか？ 公務員志望は特に長期戦。逃げたいな、もう終わりにしたいな、という気持ちがよぎることなんて、しょっちゅうかもしれません。それでもぶれずに第一志望を目指す人間は、太くて動じない軸を持っている人間だと思います。自分が社会に出たときに何をしたいのか、そのために今何をすべきなのか、何度も何度も考えてください。それこそが後悔のない就活につながるのだと思います。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



R.K

修士2年・女

森林・自然環境(大卒)

流域砂防学

併願なし

森林研究会・生け花同好会

林野庁の志望理由は？

専門分野に関連して、災害に強い森づくりに貢献したいと思ったからです。また自身が在学中に出会いたくさんお世話になった林業家さんたちに恩返ししたいと思ったのも理由の一つです。(プレイヤーよりはサポートや政策立案などが向いていると思った)

公務員試験・官庁訪問アドバイス

公務員試験の勉強は人それぞれだと思います。私はあまり時間をとれませんでした。いまもう一度受験するとしたら専門分野をもっと勉強します。官庁訪問については、大学OBの方が林野庁にいらっしゃるならそちらに聞くのが良いと思います。私は何も聞かないで臨み、ホテルを多くとってしまいました。

就活で大変だったこと

就活で大変だったことは大学時代にやってきたことを振り返ることです。意外にいろいろあって大変な作業でした。あと面接だけ正しい言葉遣いにするのは案外難しかったです。やはり普段から意識していい言葉遣いであるのが良いと思います。

後輩へのメッセージ

研究やサークル等様々な活動で忙しいとは思いますが、学生生活を楽しんだ分だけ就活は楽になるし武器が増える気がします。ぜひ、いろいろなことに挑戦してみてください。



H.T

学部4年・女

森林・自然環境(大卒)

砂防学・水文学

環境省・福岡県庁

模写・音楽鑑賞

林野庁の志望理由は？

大学で学んできたことと幼少期から興味があった生物多様性の保全に関係する仕事をしたと考えていたからです。国有林という大きなフィールドを持つ林野庁での業務に魅力を感じました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

林野庁での官庁訪問は比較的和やかな雰囲気です。職員の方々も優しいので、あまり緊張しすぎず、自分が伝えたいことをしっかり伝える準備をしていれば大丈夫です。専門試験は森林・林業白書を読み込むことをおすすめします。林野庁に入って携わりたい仕事も見つかるはずです。

ストレス発散方法

ストレスがたまっているなど感じたときは、家族や友人と出かけたり、雑談したりすることでリラックスしていました。他にも集中できる趣味など、少しの間、試験を忘れる時間を作ることでストレスゲージを下げていました。

後輩へのメッセージ

筆記試験の対策なども含めると、かなり長丁場の就職活動です。休息も十分にとりながら、体調を崩さないように頑張ってください。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



K・N

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

農林資源科学

国家一般・県庁

カバディ

林野庁の志望理由は？

大学や大学院の授業で学んだ知識を活かし、日本の森林・林業全体に関する施策立案等に関わることができる部分に魅力を感じ、志望しました。大学で森林は多面的な機能をもっており、保護や保全だけでなくそれぞれの目的に適した管理を行っていかなくてはならないことを学びました。その結果、保護・保全だけでなく、林産やその生産を生業としている林業経営体に関する施策をとりまとめ、国有林野の管理も行っている林野庁で働きたいと思うようになりました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

試験勉強はひたすら過去問の解きなおしをしていました。始める時期が早ければやいほど得点につながるの、これを読んでくれていてまだ本格的に勉強を始めている人がいるならすぐに始めることをお勧めします。官庁訪問は、面接官の人たちが話しやすい空気を作ってくれるので、しっかりと自分の意見を固めることが大事だと思います。立派なものと同級生でも教授でも全部使って面接の練習相手になってもらいましょう。

就活で大変だったこと

自分の大学は林野庁に勤めている先輩がほとんどおらず、情報収集が非常に大変でした。実際に試験などを受けてみて、「内定者の声」とに書かれていることのほとんどが事実で驚きました。何が正しいかわからない人はネットに転がっている玉石混交の情報よりも「内定者の声」の情報を信じることをお勧めします。

後輩へのメッセージ

来年度から国家公務員の試験日程が2週間ほど早まる予定のようですので、それを踏まえて早めに準備などをするをお勧めします。卒論なども始まる時期で大変とは思いますが、頑張ってください。



みや

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

植物生態学

環境省・国交省・一般職

アウトドア全般・ギター

林野庁の志望理由は？

森林が様々な方面で重要な役割を担っており森林の管理・保護の重要性が叫ばれていますがそもそも森林が適切に管理されるためには木材の需要を拡大し、林業の振興を図らなければならないと思いました。木は五感で楽しむことが出来る材です。そんな魅力のある材を世の中の人にもっと利用して欲しいと思ったほか、利用を通じて森林や林業に少しでも関心を持ったり、需要の拡大を通じて豊かで健全な森林であふれて欲しいと思ったため、そのような業務を幅広く携わることができる林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

官庁訪問の身上書は自分が森林や林業について思っていることを書くことが一番大切だと思います。志望動機から自分が何をしたいのかが明確になるような組み立てにすると面接官に働いてからのイメージが伝わりやすくなると思います。

失敗談

- ・提出する身上書のファイルがExcel形式だけでなくPDFも必要であることを提出期間終了後に気づいたこと。ダメもとでPDFファイルも提出し直したが、さらに後から身上書のファイル名が指定されていることを知ったこと。
- ・第二クールの面接案内のメールが返信必須な事に気づかず面接日前日に確認の電話がかかってきたこと。
- ・第二クール当日に携帯を無くして集合場所がわからなかったこと

後輩へのメッセージ

周りの情報に流されない事と何か失敗しても何とかなるだろうという強い気持ちを持ち続けることが大切だと思います。頑張ってください。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



R・F

学部4年・男

森林・自然環境(大卒)

森林科学・生態学

林野庁・環境省/民間企業

馬術部

林野庁の志望理由は？

幼少期から自然に触れる機会が多く、環境保全に関わる仕事に就きたいと考えてきましたが、環境保護や保全を人間の利益と切り離して考える事は難しく、保護や保全だけでは根本的で持続的な問題の解決にならないと考えるようになりました。このことから、森林の保全と利用の両方の政策立案や業務に関わりたくと考え、志望しました。また、卒論で取り組んでいた野生鳥獣による農林業被害の問題に関わりたく考えたのも、志望理由の1つです。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

大学の授業や研究室での活動、部活やサークルなどの課外活動や民間就活、院試やアルバイトなど、思ったよりもやることや考えることが多く、試験期間や官庁訪問の時期は、思ったよりも時間が取れないと思います。自分は出来ませんでしたが、どう転んでも忙しくなるので早め早めの準備や対策が重要になると感じました。やることが多くて大変だと考えるのではなく、マルチタスクを同時にこなす練習になると前向きにとらえられると頑張ることができると感じました。

就活で大変だったこと、失敗談

部活が忙しく、生き物を相手にしていたことから、休みがないの言い訳にして、就活を始めるのが遅くなってしまったことです。身近に学部卒で就職している人が少なく、就職試験や面接が本格化する1年以上前から、インターンに参加するのが一般的であることすら知りませんでした。大学生活は何か打ち込むのもいいですが、もう少し就職のことを意識して生活していれば良かったと今は感じています。

後輩へのメッセージ

自分が本格的に就活を始めたのは大学3年の2~3月だったと思います。インターンも学科や部活関係のものしか行っておらず、林野庁のインターンや説明会にも参加できていませんでした。明らかに就活に出遅れてしまったとしても、過ぎたことにはあまりこだわらず、自分の目標や将来を具体的にイメージして、やりたいことをはっきりさせることが、勉強のモチベーションや面接対策につながると感じました。全力で挑んでやり切ればどんな結果でも受け入れられると思います。悔いの残らないよう頑張ってください！陰ながら応援しています！



M・H

学部4年・女

森林・自然環境(大卒程度)

緑地環境情報学

一般職・都庁・地元県庁・市役所

ウォーキング・音楽鑑賞

林野庁の志望理由は？

高校時代から漠然と公務員を目指していましたが、大学で森林や環境問題について学ぶなかで、日本の森林や林業が多くの課題を抱えていることを知り、大学で学んだことを生かし森林管理や林業の発展に関わりたく考えるようになりました。林野庁では森林や林業にかかわる具体的な政策立案ができる点や地方の森林管理局など実際に現場で働くことで林業の現状を知り、そこで見つけた課題を政策に活かせる点に魅力を感じたため、志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

基礎能力試験についてはこつこつ続けることが大切だと思います。問題集を繰り返し解いて苦手分野を確実につぶすようにしていました。専門試験については、範囲が広く学校では学習しない内容もあるため、早めに対策をすると良いと思います。白書を自分なりにまとめることや過去問研究をしっかりとすることが重要です。人事院面接や官庁訪問では、基本的には提出した書類に沿って質問されるので、難しいと思いますが落ち着いて答えると良かったと思います。

就活で大変だったこと、失敗談、ストレス発散方法

就活で大変だったことは、併願を多めにしていたので第一志望の林野庁以外のESの提出に想像以上に手間取ったことです。2次試験がもうすぐという時期に、併願先のことを詳しく調べることやESを手書きで提出しなければならないところもあり、事前準備をもっと早くからしておけばよかったと思います。また、勉強漬けで疲れてしまったときにはしっかり休むということが意識していました。友達と遊ぶことやおいしいものを食べて気持ちをリフレッシュしてストレスをため込まないようにしていました。

後輩へのメッセージ

筆記試験・面接などすべてにおいて早めの準備を心掛け、しっかり準備をしておけば不安なく自信をもって試験に臨めたのではないかと思います。準備期間が長くなり大変だと思いますが頑張ってください！応援しています。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



S.M.

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

林政学

環境省・国家一般職・熊本県庁

馬術部/動物園・水族館巡り

林野庁の志望理由は？

小さいころから山や海で遊ぶ機会が多かったことから、漠然と自然に関わる仕事に就きたいと考えていました。大学で勉強するなかで、私たちの生活する社会が様々な環境問題を引き起こしていることを知り、その中でも自分にとって最も身近な自然である森林と社会の関係について関心を持ちました。勉強するだけでは終わらずに、政策や国有林管理を通して、ヒトを含むすべての生物がより幸せに生きていくことができるような社会と森林の関係性づくりに少しでも貢献したいと思ったため林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

私の場合は公務員試験対策の取組みははじめが遅く、あまり勉強する時間がないなかで合格までの計画を立てる必要がありました。時間がない場合は勉強範囲を広げずに、数年分の過去問から出題範囲や傾向を把握したうえで計画を立てて取り組むことで、短時間でもある程度の成果を出すことができると思います。もちろん、早期に勉強を始めることが一番の公務員試験対策です。

失敗談

林野庁の官庁訪問に関する情報収集をきちんと行っておらず、具体的な進行方法などの情報がほぼないまま官庁訪問を迎えました。そのせいで、第1クールの通過通知は訪問当日に送られてくると勘違いしており、夜まで連絡を待ったが来ず、官庁訪問初日の夜から絶望を感じる(後日無事に通過の連絡が来ました。)という無駄な失敗を犯してしまいました。自分に対して不要な精神的負担をかけないように、皆さんにはきちんと情報収集することをお勧めします。

後輩へのメッセージ

身上書でも面接でも自分らしく、飾らないことがあまり苦しまずに就職活動を終えるコツだと思います。無理に格好をつけたり見栄を張ったりすると、緊張してポロが出やすくなり、面接官にはすぐ見抜かれます。自然体で難しいことを考えずに受け答えをする方が、面接官に入庁に対する熱量や自分の考えが伝わりやすと思います。不合格なら縁がなかったんだ、くらいの気持ちであまり自分を追い込みすぎずに頑張ってください。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



S・M

修士2年・男

森林・自然環境(院卒)

森林生態学

環境省/環境コンサル

オリエンテーリング

林野庁の志望理由は？

自然が好きで、自然環境の保護に関わる仕事に就きたいと思っていました。特に、利潤が第一ではないかつ全体を見渡せる国家公務員が良いと思い、林野庁を志望しました。

公務員試験・官庁訪問アドバイス

この「内定者の声」に書かれていることを参考に対策をすれば大丈夫だと思います。頑張ってください！

就活で大変だったこと

研究との両立が大変でした...
就活が終わった後に旅行を入れて、それを目標に頑張りました。

後輩へのメッセージ

面接では想定外の質問にキョドりましたが無事に内定をいただきました。試験は最後まで何があるかわからないので、もしやらかしてしまっても最後まであきらめずに頑張ってください！

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー

7. 採用担当インタビュー



採用担当のNさんにインタビューしてきました！



林野庁の魅力を教えてください！



森林は、水源涵養機能や土砂災害防止機能など、多面的な機能を持っており、それらは国民の生活を根っこから支えています。皆さん普段はあまり意識していないかもしれませんが、安心して生活できるのも、我が国の森林が全体として健全に保たれているからだと思います。こうした森林の機能の発揮のために取り組むことで、国民の皆さんの生活を支えることのできる仕事だと思います。

また、その取り組み方にもちょっと特徴があります。様々な制度を整備したり、財政面で地域においてがんばる方々を支援したり、といったことは他の行政機関でも一般的に行われていますが、林野庁はそれに加えて、国有林という国土の2割を占めるフィールドを所有しており、それをうまく管理経営することで、森林の機能の発揮に直接的に取り組むことができるのです。それも大きな魅力の一つだと思います。



どんな人に林野庁に来てほしいですか？



これまでも色々な場で答えてきましたが、林野庁は森林と主に山村地域で営まれる林業・木材産業を対象に仕事をしています。ですので、常にそういった現場や現場で生活する人達のことを考えながら仕事に取り組めるような方に来て欲しいと思います。なお、採用時点ではそういった現場に行った経験がなくあんまりイメージできなくて…という方も全く問題ありません。林野庁に入ってからいくらかでも機会がありますので。



採用活動での思い出を教えてください！



採用説明会などで志望者の方と会った際、参加者の皆さんがキラキラと輝いて見えていつも圧倒されます。もちろん仕事をしていると苦労することもあります。希望に満ちた皆さんと話をすると自分自身も前向きになれてうれしいです。

内定者情報

総合職試験

官庁訪問

併願対策

説明会対策

内定者
プロフィール

採用担当
インタビュー



印象に残った出来事がありますか？



林野庁には、「森林官」という役職があり、国有林の最前線で国有林の管理や森林調査等を行います。2年ほど前、かつて自分が森林官として森林整備に関わった国有林を訪れたのですが、すっかり成長し、見違えるように立派な森林になっていました。自分の携わった仕事がこういった形であらわれて、後世に残っていくということを改めて認識し、仕事への取り組み方について思いを新たにしました。



今年の内定者はどんな雰囲気ですか…？



森林を相手にしている仕事とあってか、他省庁と比べて林野庁の職員は派手さはあまりないですが、真面目で責任感の強い方が比較的多いのではと勝手に思っています。今年の内定者の皆さんも林野庁職員と同じように、真面目でしっかりものが多いような印象です。やっぱり山好きは似てくるのだなあと感じています。毎年思うことですが…

あとは、今年の内定者はバックグラウンドが多彩だなと思いますね。全国各地の様々な大学から来てくださったというのもそうですし、面接などでは趣味・特技、これまでの経験などをお聞きしましたが、本当に色々なことをしてきた方が多いです。立場柄たくさんの方の話を聞くのですが、カバディを本格的にやっていたという人に初めて出会いました。こういった多様な方が集まるとお互い刺激を受けていい効果を生むのではないかと思います。



最後に一言お願いします！



成熟した人工林資源の活用、カーボンニュートラル実現への貢献など、森林・林業・木材産業をめぐる状況は刻々と変化しており、そういったミッションと一緒に取り組んでくれる仲間を林野庁職員一同お待ちしております。
業務説明会、職場訪問やインターンシップなど、林野庁の業務をもっと知ってもらえるような機会をどんどんつくっていきたいと思いますので、興味がある方は是非一度参加してみてください。



お忙しい中、ありがとうございました！

おわりに

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。いかがでしたでしょうか。もし、皆さんの疑問や不安を少しでも取り除くことができたのであれば、大変嬉しく思います。なお、林野庁に関する業務については、本冊子ではあまり触れておりませんので、林野庁のホームページや説明会での情報収集をお願いいたします。

冒頭でも述べましたが、本冊子に書かれていることは、内定者による主観や一経験です。勉強法や対策は十人十色。皆さんが自分に合ったスタイルで受験や就活ができること、そして、ベストを尽くせることを心より願っています。いつか皆さんにお会いできる日が来ることを、内定者一同、楽しみにしています。ぜひ頑張ってください。応援しています。

2022 年度 林野庁総合職（技術系）内定者一同

少しでも参考になれば幸いです
応援しています！

